

令和3年4月28日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学 看護実践研究センター
センター長 香月 富士日 電話 052(853)8048

**名古屋市立大学 看護実践研究センター事業
第8回 地域連携セミナーのご案内**

**在宅医療の賢い活用法
—終末期を自宅で過ごすためには—**

名古屋市立大学看護実践研究センターでは、市民の皆様や保健医療福祉関連職種の方々を対象としたセミナーや講座などを企画・運営しております。

今回は、杉浦医院院長の森 亮太氏に、「在宅医療」をテーマに講演いただきます。終末期を自宅で過ごすための在宅医療の活用法と地域で多職種が連携して行う在宅医療の工夫など、事例を混じえながら、お話いただく予定です。在宅医療について、市民の皆様と一緒に考える機会となればと思います。

この講演会を広く知っていただきたく、ご案内申し上げますとともに、ご取材いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

- 1 日 時：2021年7月10日（土）13:00～15:00（受付 12:30～）
- 2 テー マ：在宅医療の賢い活用法 —終末期を自宅で過ごすためには—
- 3 講 師：杉浦医院 院長 森 亮太 氏
- 4 会 場：名古屋市立大学 看護学部棟 3階 308 講義室
- 5 対 象 者：市民の皆様、保健医療福祉職種の皆様
- 6 定 員：50名 申し込み期間 5月17日（月）～6月29日（火）
- 7 受 講 料：500円（資料代）
- 8 申 込 方 法：下記のいずれかの方法で、申込み手続きをお願いします。

① ネットでの申込方法 名古屋市電子申請サービスを利用

<https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/>

(看護実践研究センターホームページからもアクセス可能)

②FAXでの申込方法 応募用紙をセミナーサイトよりダウンロードして、
必要事項記入の上、052-853-8042(看護実践センターへ送信)

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/community-seminar/index.html>

問合せ先：名古屋市立大学 看護実践研究センター

(名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1)

電話：052-853-8042 (不在時：052-853-8037) FAX：052-853-8042

E-mail：n.center@med.nagoya-cu.ac.jp

【講師 森 亮太氏プロフィール】

〈学歴及び職歴〉

- 平成10年 名古屋市立大学病院医学部卒業
淀川キリスト教病院 臨床研修医
- 平成12年 名古屋市立東市民病院 外科
- 平成15年 市立恵那病院 外科 外科科長
- 平成17年 名古屋市立大学病院 外科 臨床研究医
- 平成19年 名古屋共立病院 外科
- 平成21年 第1なるみ病院 外科
- 平成22年 杉浦医院 副院長
- 平成23年 杉浦医院 院長
- 平成24年 NPO 法人ささしまサポートセンター 設立 理事長
- 平成25年 医療法人八事の森 設立 理事長
- 平成30年 BAR & BISTRO MASSA オーナー
名古屋市医師会理事



〈著作物〉

『地域医療はおもしろい!!』(平成27年4月1日 ライフメディコム P.258～264

編者 北村聖)

『高齢者と貧困』(平成28年3月 在宅新療 0-100 第1巻 第3号 P.239～242)

『ささしまサポートセンター』(平成28年3月30日 中日新聞 朝刊 人情交差点)

等多数あり。



2021年度 名古屋市立大学 看護実践研究センター事業 第8回 地域連携セミナー

在宅医療の賢い活用法

—終末期を自宅で過ごすためには—

杉浦医院 院長 森 亮太 先生



当医院では、平成23年(2011年)より八事で地域密着型の在宅医療に取り組んでいます。午前と夕方の診療に加え、その診療の合間に8施設を含む訪問診療を約170件、年間平均看取り33件を行っています。病棟に「特別室」を設けている病院は多いですが、「自宅」こそが、その人にとっての一番の特別室であるはず。人生を終えるとき、家に帰って最期を過ごすために必要なのはその「覚悟」です。そのための覚悟には、①患者さんが家に帰ってほしいことをチームで把握して支える医療者としての覚悟、②必ず家に帰るとい患者さんの覚悟、③家に帰りたいという患者さんを支える家族の覚悟の3つがあります。三者が覚悟して協力すれば、癌の末期であれ、老衰の終末期であれ、どんな状態であっても最期を家で過ごすことは可能です。

そこで、当院での実践をふまえた、地域で多職種が連携して行う在宅医療の工夫と終末期を自宅で過ごすための在宅医療の活用方法について報告いたします。

・日時:2021年7月10日(土) 13:00~15:00 (受付12:30~)

・会場:名古屋市立大学看護学部棟 308講義室

・定員:50人程度(受付期間:5月17日~6月29日、申込方法 裏面参照)

・参加費:500円(資料代)



申込QRコード。

お子様のご同伴はご遠慮下さい。

台風等の災害で中止となる場合は、看護実践研究センターのホームページでお知らせします。

●交通アクセス●

地下鉄 桜通線「桜山」駅下車、3番出口より徒歩約3分

市バス<金山市営バスターミナル>

金山12「妙見町」「金山(桜山経由左回り)」行にて
「市立大学病院」下車

金山14「瑞穂運動場東」行にて
「市立大学病院」下車

●問い合わせ●

名古屋市立大学 看護実践研究センター
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
E-mail n.center@med.nagoya-cu.ac.jp
TEL 052-853-8042 FAX 052-853-8042
TEL 052-853-8037 (不在時)



主催 名古屋市立大学 看護実践研究センター
名古屋市立大学病院看護部